



常味裕司 Yuji Tsunemi ウード奏者

1960年東京生まれ。民族音楽センター在籍中、アラブ音楽に出会う。スーダンのウード奏者、故ハムザ・エル＝ディーン氏のもとで演奏法を学び、89年よりチュニジアへ渡りアラブ世界を代表するウード奏者、故アリ・スリティ氏（チュニス国立音楽院ウード科教授）に師事。06年春エジプト・カイロオペラハウスにて、現地演奏家と共にコンサート開催（国際交流基金主催）。同年末、チュニジア・ドゥースにおける「サハラフェスティバル」に参加。日本ではソロ活動およびアラブ音楽アンサンブル Farha や、Arabindiaなどを主宰し、様々な演奏家、舞踊家と共演。07年NHKスペシャル「新シルクロード-激動の大地をゆく-」での音楽・演奏を担当。その他NHK大河ドラマ「龍馬伝」、NHKドラマ「ロング・グッドバイ」、役所広治監督映画「がまの油」、映画「るろうに剣心」など多数のドラマ・映画音楽に参加している。 ホームページ <http://www.oud.jp/>



ファルハ Farha アラブ音楽アンサンブル

ファルハ Farha はアラビア語で「喜び」を意味する。ウード奏者の常味が長年あためて実現したアンサンブル。リュートの原型と言われる美しい弦楽器ウード(Oud)、琴に似たカーヌーン(Qanun)、アラブのタンバリンのレック(Riq)といったアラブ古典楽器に、ヴァイオリン、コントラバスを加えた華麗な編成で、エジプトのムハンマド・アブドゥルワッハブなどの楽曲や、アラブ、トルコの古典曲などを演奏。



CD『タリク・道』



本作は、2007年4月から放送された『NHKスペシャル 新シルクロード・第2シリーズ 激動の大地をゆく』のために新たに作曲/収録された音楽を編集、また番組に使用されなかった曲をボーナストラックとして収録したオリジナル・サウンド・トラック（2009年発売）。

常味裕司のウード・タクシーム（独奏即興曲）と、自身がプロデュースのアラブ音楽アンサンブル Farha による演奏で、常味裕司のオリジナル曲の他、レック奏者和田啓とのオリジナル曲、エジプトの偉大なる作曲家アブドゥルワッハブの作品などが収録されている。

カンタービレこうじまちのこれまでの主な活動

- 2010年9月 クリスチャン・ブルヴィエ&蓮見昭夫 フルート・ギターコンサート
- 2011年6月 バイマー・ヤンジン（チベット出身の音楽家）トーク&コンサート
- 2012年6月 木村俊介×小野越郎 DUO コンサート（津軽三味線、東北の芸能）
- 2012年11月 カート&ブルース 箏・尺八コンサート
- 2013年2月 クリスチャン・ブルヴィエ フルートリサイタル
- 2014年5月 桂サンシャイン落語独演会

その他、映画上映会などを開催し、様々な分野で活躍している芸術家を応援しつつ、その収益を、確固たる信念を持ち、社会への貢献を惜しまぬ個人および団体に寄付してまいりました。今回のコンサートの収益金は、ネフェルギャラリーを通じてエジプトミニヤの聖心会 Samalout 火傷治療施設および Beniebet/Abukorkas 教育施設に寄付させていただきます。



当日ロビーにて、キリムのチャリティーバザー販売を行います

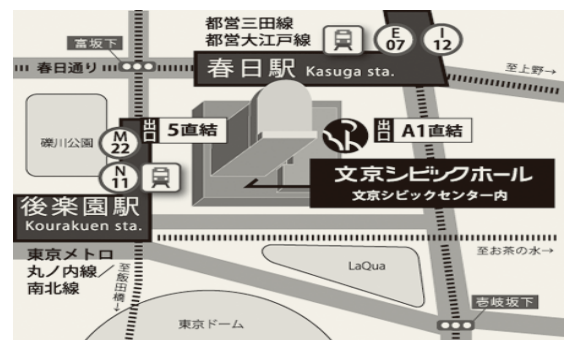


キリムとは、トルコ語で毛足の無い平織りをベースにした織物のこと。もともと遊牧民が手織りして、敷物・テント布などの生活道具として使われてきました。幾何学のモチーフはさまざまな意味を持ち、独創的な色やデザインは、その芸術性の高さでも注目されています。



ネフェルギャラリー （代表 金田理恵）

エジプトおよび近隣諸国の職人、画家、アーティストを紹介するギャラリー。伝統工芸品の職人を支援するとともに、収益の一部をエジプトミニヤの Samalout 聖心会火傷治療施設、教育施設に寄付する活動を続けている。（<http://www.nefergallery.com/jp>）



文京シビック小ホール

〒112-003 東京都文京区春日 1-16-21

文京シビックセンター2階
東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅 【直結】
都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅 【直結】